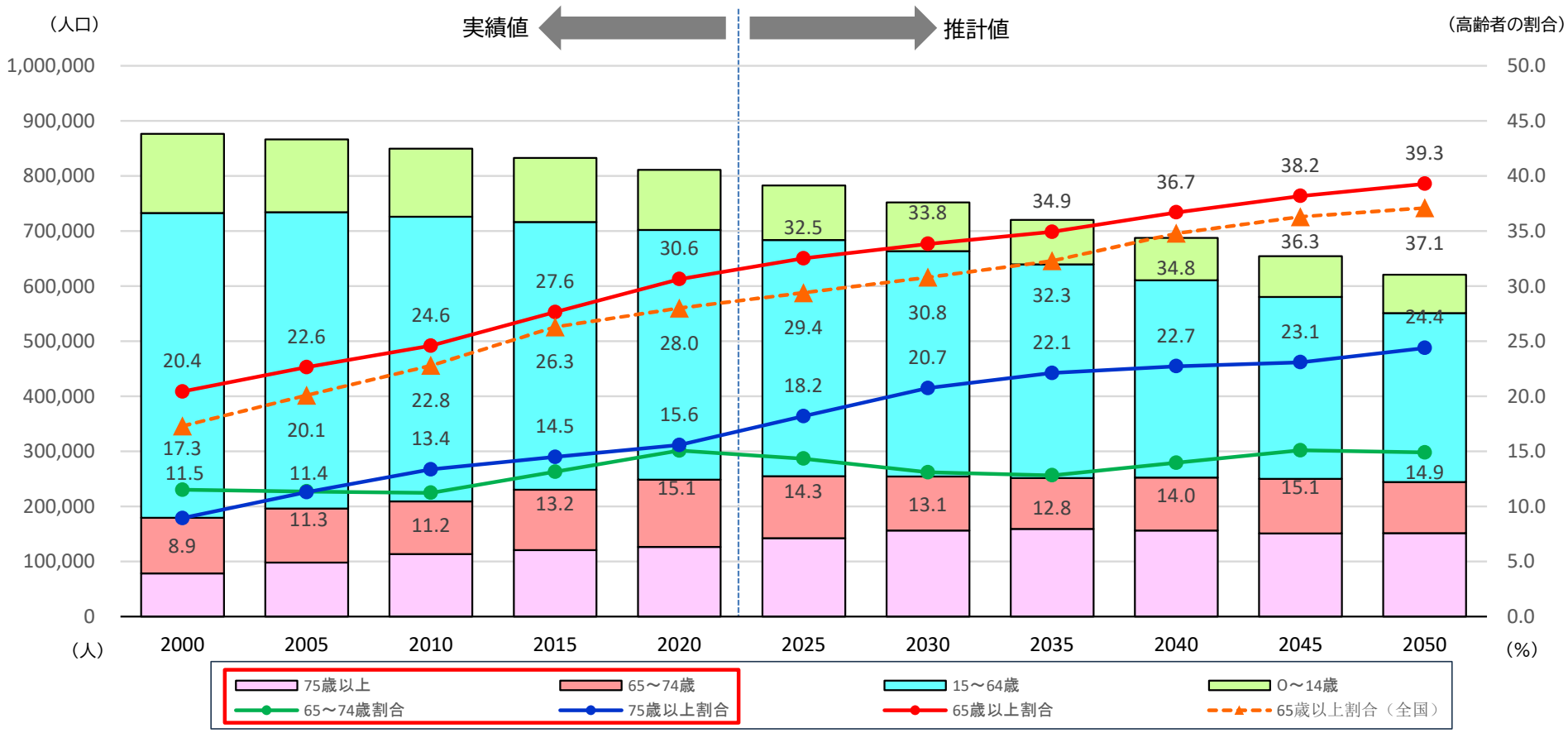
【資料1】

（1）佐賀県の現状

Copyright © 2026 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

人口の推移



（出典）2000年～2020年まで：総務省「国勢調査」（年齢不詳人口をあん分した人口）
2025年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

年	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050
総人口	876,654	866,369	849,788	832,832	811,442	782,764	751,906	720,207	687,798	654,356	620,873
65歳未満人口	697,492	670,164	640,778	602,657	562,871	528,155	497,462	468,670	435,444	404,523	376,907
65歳以上人口	179,162	196,205	209,010	230,175	248,571	254,609	254,444	251,537	252,354	249,833	243,966
65歳～74歳人口	100,821	98,335	95,466	109,539	122,265	112,192	98,436	92,308	96,046	98,759	92,549
75歳以上人口	78,341	97,870	113,544	120,636	126,306	142,417	156,008	159,229	156,308	151,074	151,417

65歳以上の人口は2025年～2030年頃、
75歳以上の人口は2035年頃がピークの見込み

Copyright © 2026 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

高齢化率の状況

- 本県の人口に占める65歳以上の割合（高齢化率）は全国平均を上回っているが、九州各県の中では、福岡県に次いで2番目に低い。
- 人口に占めるこども（15歳未満の年少人口）の割合は全国で2番目に高い。

＜高齢化率（令和6年）＞

県名		割合
九州	福岡県	28.6 %
	佐賀県	32.0 %
	長崎県	34.7 %
	熊本県	32.6 %
	大分県	34.4 %
	宮崎県	33.9 %
	鹿児島県	34.2 %
全国平均		29.3 %

※出典：総務省「人口推計（R6.10.1現在）」

Copyright © 2026 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

高齢者世帯数の推移

- 本県は、全世帯数に占める世帯主65歳以上世帯の割合は高い。
- 世帯主65歳以上の世帯に占める単独世帯・夫婦のみ世帯の割合は全国平均より低く、65歳未満と同居している世帯が多い。

（単位：世帯）

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
全世帯数	311,173	319,333	319,911	314,603	304,927
世帯主65歳以上の世帯数	136,859	143,934	146,217	145,176	145,659
全世帯に占める世帯主65歳以上世帯の割合	44%	45%	46%	46%	48%
全世帯に占める世帯主65歳以上世帯の割合【全国】	38%	38%	39%	40%	43%
世帯主65歳以上の単独世帯数	39,451	44,490	47,971	50,345	52,886
世帯主65歳以上の世帯に占める単独世帯の割合	29%	31%	33%	35%	36%
世帯主65歳以上の世帯に占める単独世帯の割合【全国】	35%	37%	40%	42%	43%
世帯主65歳以上の夫婦のみ世帯数	39,090	41,256	40,748	38,773	37,304
世帯主65歳以上の世帯に占める夫婦のみ世帯の割合	29%	29%	28%	27%	26%
世帯主65歳以上の世帯に占める夫婦のみ世帯の割合【全国】	32%	31%	30%	28%	27%

出典：国立社会保障・人口問題研究所『日本の世帯数の将来推計（都道府県別推計）』（2024年推計）

Copyright © 2026 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

要介護・要支援者の状況

- 本県の要支援・要介護認定を受けている高齢者の割合は、全国の中では低い水準。 比較的元気な高齢者の割合が高い。
- 要介護・要支援者の内訳では、要支援者の割合が高く、要介護者の割合は低い。
- 要支援者の予防給付費は、受給者ベース・高齢者人口ベース共に全国上位。（介護予防に費用を充てている）
- 要介護者の給付費は、受給者ベースでは全国上位だが、高齢者人口ベースでは全国低位。

＜要支援・要介護認定を受けている高齢者の割合（2024（R6）年度）＞

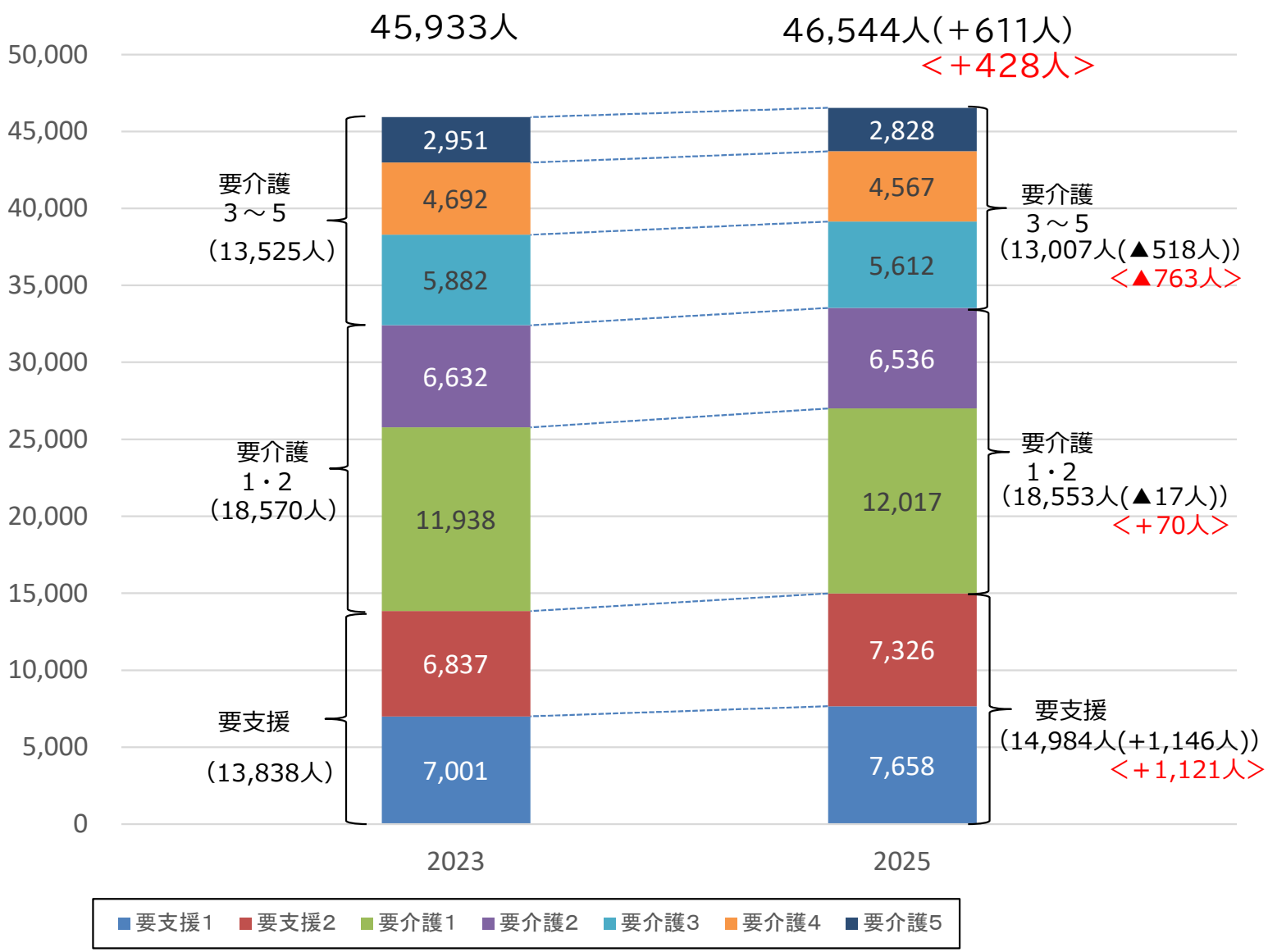
	要支援・要介護	要介護	要支援
佐賀	18.0% （全国38位）	12.2% （全国46位）	5.9% （全国14位）
全国	19.7%	14.1%	5.7%

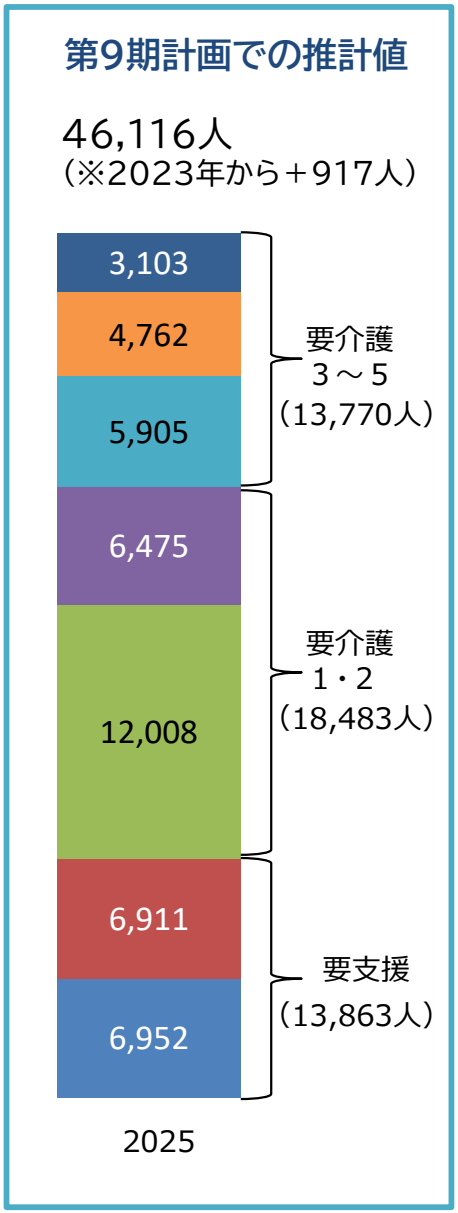
＜介護給付費（2024（R6）年度）＞

	高齢者一人当たり		受給者一人当たり	
	要介護	要支援	要介護	要支援
佐賀	295,980円 （全国43位）	14,202円 （全国2位）	217,800円 （全国6位）	37,100円 （全国1位）
全国	320,555円	8,836円	206,300円	28,200円

Copyright © 2026 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

要介護度の分布





※2025年の人数の()内は2023年との比較、<>内は推計値との比較

出典:厚生労働省「介護保険事業報告」

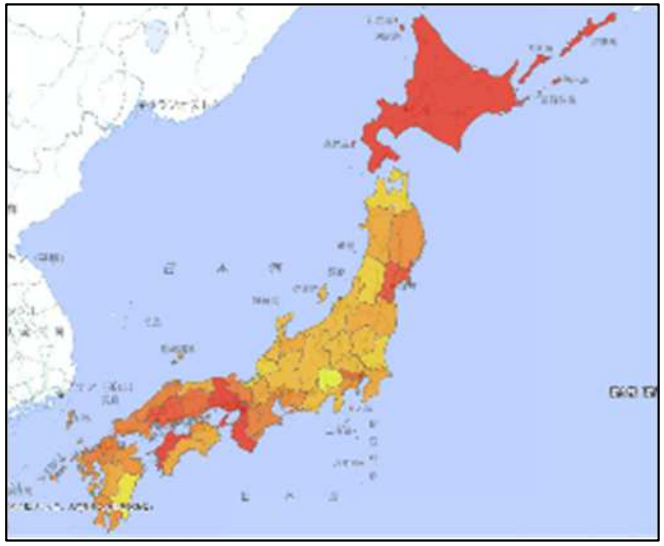
Copyright © 2026 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

【参考】要介護度分布の全国比較

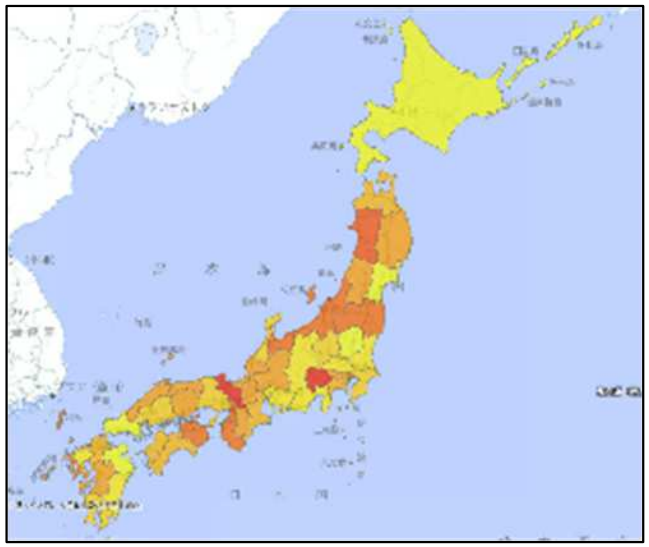
■要支援1～要介護5



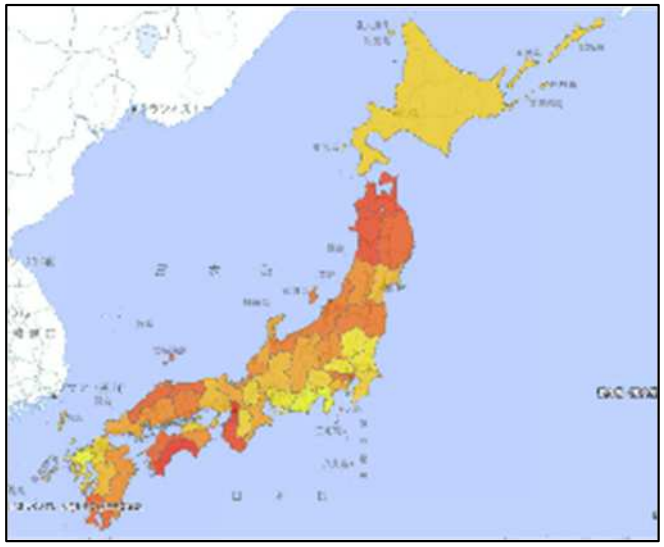
■要支援1



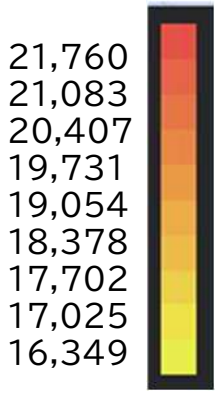
■要介護3



■要介護5



要介護(要支援)認定者数(人)



出典:内閣府「RESAS(地域経済分析システム)」
65歳以上人口10万人当たり要介護・要支援認定者数(2022年)

Copyright © 2026 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

平均自立期間と平均余命の状況

- 平均自立期間(※)と平均余命の差の小ささで、本県は男女ともに全国1位。

※ 平均自立期間:日常生活動作が自立している期間の平均(要介護2以上を自立していないものとみなす)

＜平均自立期間と平均余命の差(2023年)＞

【男性】

県名		平均自立期間	平均寿命	差(寿命-自立)	全国順位
九州	福岡県	79.3歳	80.7歳	1.4歳	4位
	佐賀県	79.7歳	80.8歳	1.1歳	1位
	長崎県	79.1歳	80.5歳	1.4歳	4位
	熊本県	80.1歳	81.5歳	1.4歳	4位
	大分県	80.0歳	81.3歳	1.3歳	3位
	宮崎県	79.0歳	80.2歳	1.2歳	2位
	鹿児島県	79.2歳	80.6歳	1.4歳	4位
全国平均		79.7歳	81.1歳	1.4歳	－

【女性】

県名		平均自立期間	平均寿命	差(寿命-自立)	全国順位
九州	福岡県	84.0歳	87.0歳	3.0歳	5位
	佐賀県	84.6歳	87.0歳	2.4歳	1位
	長崎県	83.9歳	86.8歳	2.9歳	4位
	熊本県	84.4歳	87.6歳	3.2歳	7位
	大分県	84.4歳	87.2歳	2.8歳	3位
	宮崎県	83.9歳	86.6歳	2.7歳	2位
	鹿児島県	83.8歳	86.6歳	2.8歳	3位
全国平均		84.1歳	87.2歳	3.1歳	－

※出典:国民健康保険団体中央会「平均自立期間・平均余命(令和5年統計情報分)について」(令和7年7月31日公表)

Copyright © 2026 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

佐賀県の糖尿病、骨折患者、医療費の状況

- 本県は糖尿病とその予備軍の割合、骨折患者数が全国ワーストクラス。
- 「SAGATOCO」の活用推進などにより、透析患者数は減少傾向。一人当たり医療費も改善傾向。

糖尿病の疑いが強い人（R5）

1	佐賀	9.23%
2	鹿児島	9.11%
3	青森	9.09%
4	茨城	9.03%
5	宮城	9.01%
	.....	
46	神奈川	6.33%
47	東京	6.12%
（全国平均）		7.31%

人口1万人当たり骨折患者数（R5）

1	佐賀	125.8人
2	高知	120.1人
3	和歌山	112.1人
4	福岡	111.7人
5	熊本	111.2人
	.....	
46	岩手	60.2人
47	宮城	57.4人
（全国平均）		88.2人

1人当たり医療費（R5/年齢調整後）

1	福岡	438,735円
2	鹿児島	436,128円
3	高知	432,521円
4	大阪	431,246円
5	佐賀	429,659円
	.....	
46	岩手	341,284円
47	新潟	329,975円
（全国平均）		386,740円

※骨折患者に占める65歳以上の割合：約6割（女性は、約8割）

※糖尿病の疑いが強い人については、40歳～74歳の特定検診受診者に占める割合。

Copyright © 2026 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

令和8年度の主要施策

令和8年度当初予算

一部2月補正事業含む

輝けるシニア　シニア世代が活き活きと活躍するための環境づくり

拡充

シニア世代の活躍促進事業　5,600万円

R7.10 初の ゆめさが“大”学校祭 参加者約1,800人




令和８年度はシニア世代の活躍の場をさらに広げていく

ゆめさが大学の活力を、県内のシニア世代へ広げる



POINT
- ＊ 一般参加型の「学校祭」へリニューアル
- ＊ “大”学校祭の盛り上がりにもつなげる

シニア世代の『活動を始めたい・広げたい』をサポート



POINT
- ＊ 支援員がゆめさが大学を訪問し、活動開始や立ち上げのための相談対応を実施
- ＊ 在学中から地域活動リーダーを育成

拡充

シニア世代の健康促進事業　7,600万円

SAGATOCOの利活用推進

SAGATOCOの機能でシニア世代の『歩く動機づけ』を後押し



POINT
- ＊「グループ機能」を活用し、仲間と楽しむ
- ＊自分が歩いたポイントを子ども食堂等に寄付する機能で、「誰かのため」に歩く動機付け

ウォーキングイベントの開催

日常的に歩くことを習慣にしているシニア世代を増やす



POINT
- ＊ 地域で集まる「通いの場」へのイベント周知強化
- ＊「通いの場」の活動に「歩く」を取り入れ、シニア世代の「歩数」を伸ばす

新規

老人クラブ活動支援事業　再掲　3,000万円

クラブ活動の維持・促進のため
支援金を給付
構成人数に応じ、1団体 2-5万円



生涯現役・介護の仕事理解促進事業　500万円

セカンドキャリアとして
「介護」に関心を持ってもらうための
セミナーを開催



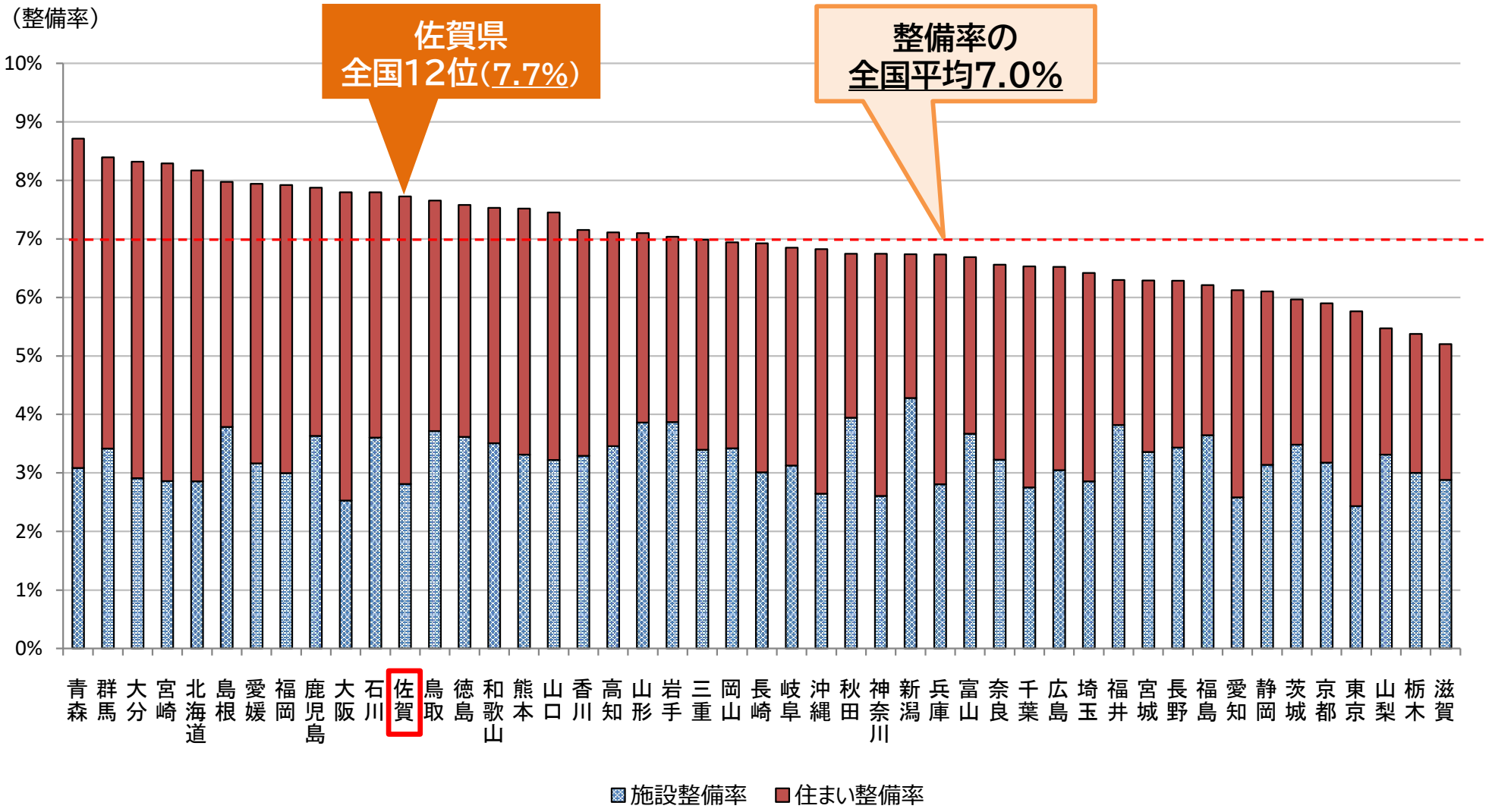
介護予防関連の事業　2,300万円

・心と体の衰えを防ぐために効果的な運動プログラム動画の普及啓発
・介護予防アドバイザーを「通いの場」に派遣



Copyright © 2026 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

65歳以上の高齢者向け施設・住まいの整備状況



※「**施設整備率**」…65歳以上人口に対する「特別養護老人ホーム」「介護老人保健施設」「介護医療院」（R6介護サービス施設・事業所調査）の総数の割合
※「**住まい整備率**」…65歳以上人口に対する「養護老人ホーム」「軽費老人ホーム」「有料老人ホーム（サ高住以外）」（R6社会福祉施設等調査）、
「サービス付き高齢者向け住宅」（R6.9末登録数）、「認知症高齢者グループホーム」（R6介護サービス施設・事業所調査）の総数の割合
※65歳以上人口は、R6.10.1人口推計による

Copyright © 2026 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

特別養護老人ホームの待機者（入所申込者）の状況①

- 本県の特別養護老人ホームの待機者数（※）は、令和4年度との比較で改善。

※待機者：特別養護老人ホームに入所を申し込んでおり、調査時点で当該特別養護老人ホームに入所していない者

- 待機者の割合は、全国平均を下回っており、全国でも9番目に低い水準。

＜要介護認定者数のうち特養待機者が占める割合（要介護3以上の方）＞

県名		R4	R7	R4→R7	R7全国順位（低い順）
九州	福岡県	7.6 %	6.2 %	▲1.4pt	8位
	佐賀県	10.2 %	6.8 %	▲3.4pt	9位
	長崎県	12.0 %	12.4 %	0.4pt	39位
	熊本県	8.4 %	5.6 %	▲2.7pt	6位
	大分県	8.3 %	7.2 %	▲1.1pt	13位
	宮崎県	11.1 %	9.0 %	▲2.1pt	21位
	鹿児島県	11.0 %	6.8 %	▲4.2pt	9位
全国平均		10.6 %	10.5 %	▲0.1pt	－

※出典：厚生労働省「特別養護老人ホームの入所申込者の状況（令和7年度）に関する調査結果」（R7.12.25公表）」

Copyright © 2026 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

特別養護老人ホームの待機者（入所申込者）の状況②

令和8年度　特別養護老人ホームの入所申込者等調査結果（令和8年4月1日時点）

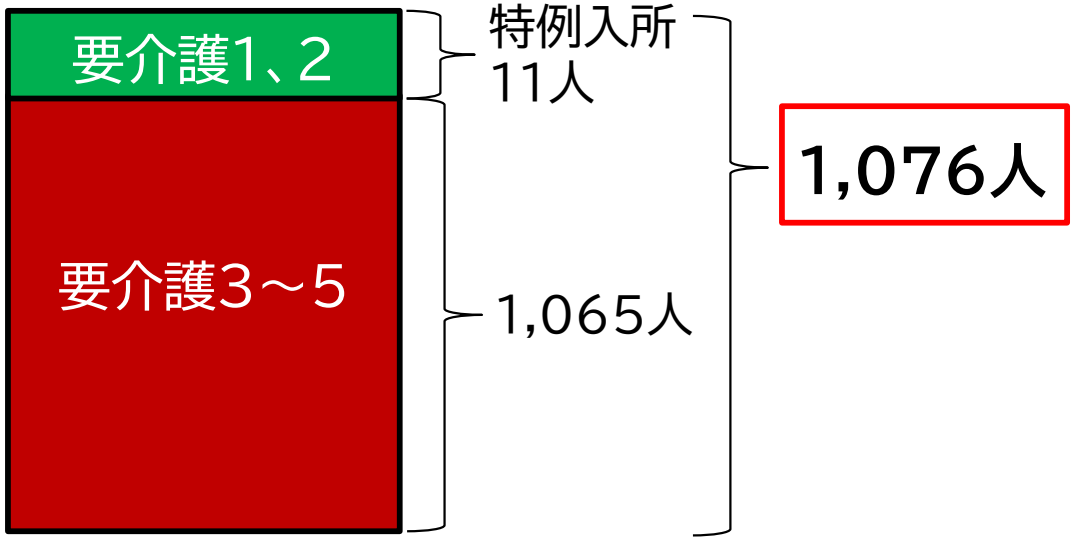
- 特養の年間退所者数は約1,300人（前回の計画策定時とほぼ同水準）
- 待機者（※）数は1,076人（前回の計画策定時（1,474人）より減少）
- **待機者は概ね1年以内に入所が可能**

特養の年間退所者数

約1,300人

＞

待機者の内訳（特例入所、要介護3～5）



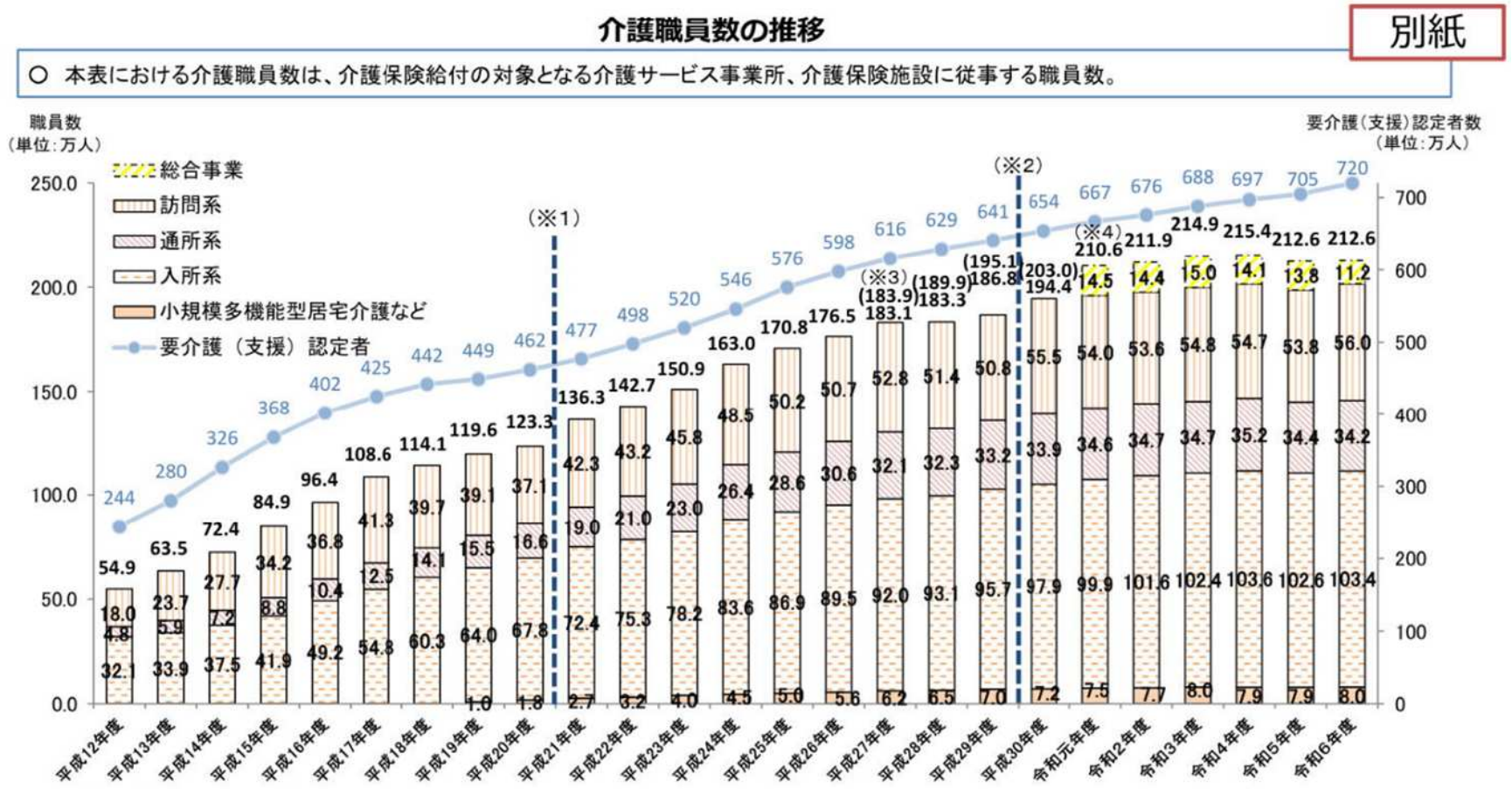
Copyright © 2026 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

介護職員数の推移

＜介護職員数の推移＞

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
全　国	210.6万人	211.9万人	214.9万人	215.4万人	212.6万人	212.6万人
佐賀県	15,312人	－	－	15,717人	－	－

別紙



※出典：厚生労働省「介護職員数の推移の更新（令和6年度）」（R7.12.19公表）

Copyright © 2026 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

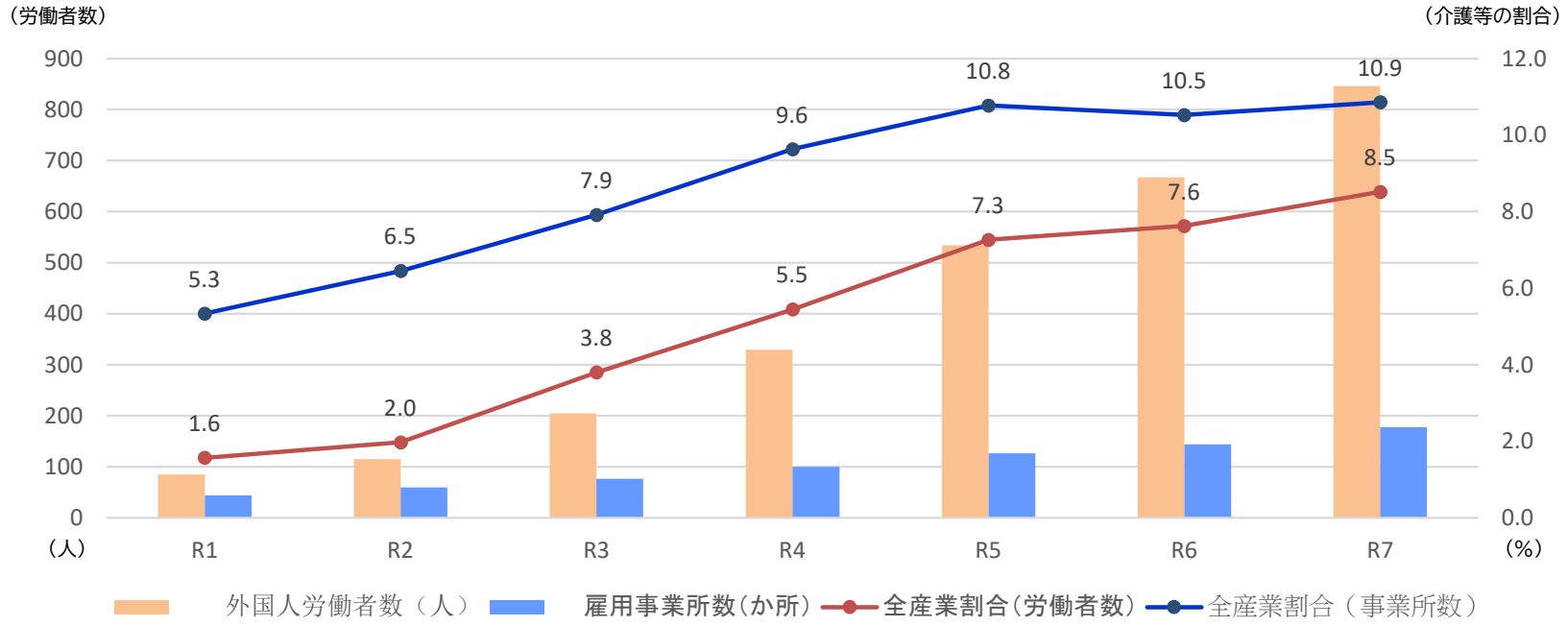
県内の外国人介護職員数

＜佐賀県の外国人労働者数の推移＞

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
外国人労働者数(人)	5,423	5,823	5,391	6,054	7,350	8,749	9,932
雇用事業所数(か所)	824	930	973	1,038	1,179	1,368	1,639
うち社会保険・社会福祉・介護事業							
外国人労働者数(人)	85	115	205	330	534	667	846
雇用事業所数(か所)	44	60	77	100	127	144	178

※出典:佐賀労働局「外国人雇用状況の届出状況」

＜佐賀県の外国人労働者数(社会保険・社会福祉・介護事業)の推移＞



※出典:厚生労働省「介護職員数の推移の更新(令和6年度)」(R7.12.19公表)

Copyright © 2026 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

在留資格別外国人介護職員数(全国・佐賀)

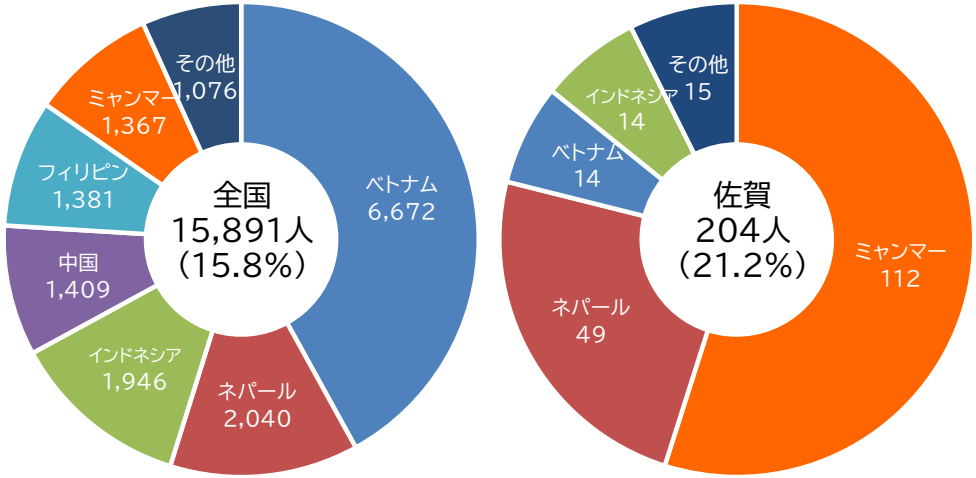
EPA(経済連携協定)

全国	佐賀
3,304人 (3.3%)	8人 (0.8%)

＊国籍は不明

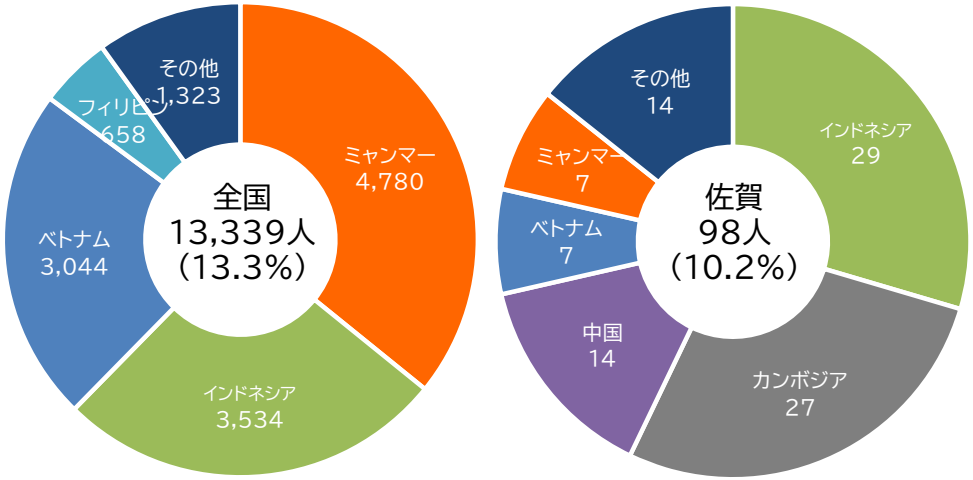
※出典:JICWEL(2025年1月1日現在)

在留資格「介護」



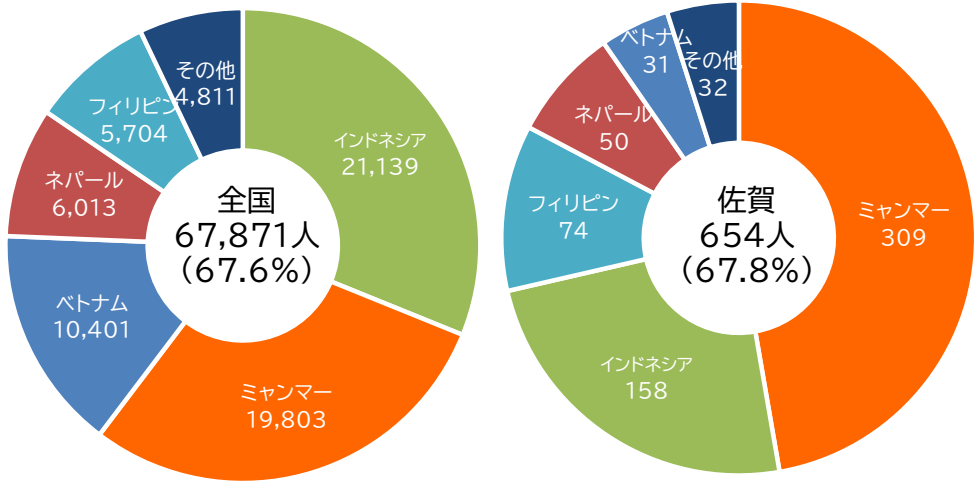
※出典:出入国在留管理庁(令和7年12月末現在)

技能実習(介護)



※出典:外国人技能実習機構技能実習認定件数(令和6年度)

特定技能(介護)



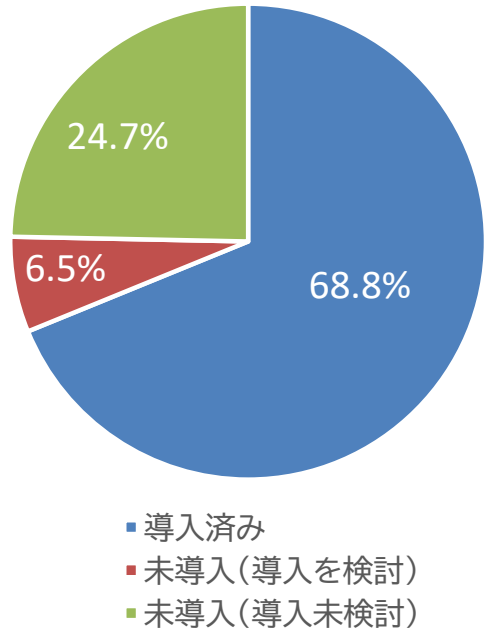
※出典:出入国在留管理庁(令和7年12月末現在)

※人数の下段()内の割合は、在留資格の合計人数に対する割合だが、各数値の時点が異なるため参考値。

Copyright © 2026 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

介護現場における介護テクノロジー機器導入状況（令和8年2月時点）

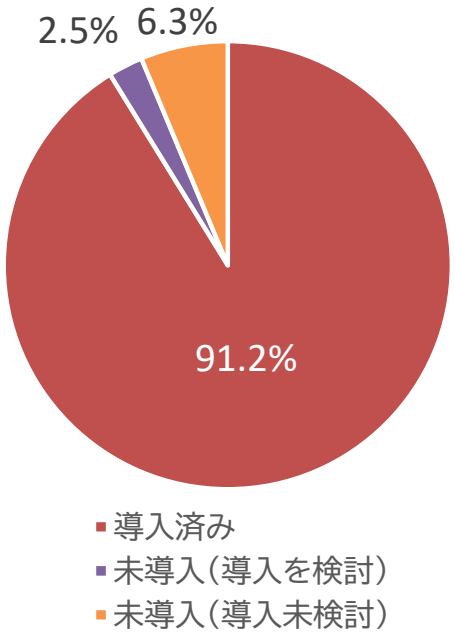
入所施設の介護ロボット導入状況



＜導入済み施設割合の推移＞

R5	R7	R5→R7
49.3%	68.8%	+19.5pt

介護事業所の介護ソフト導入状況



＜導入済み事業所割合の推移＞

R5	R7	R5→R7
85.3%	91.2%	+5.9pt

Copyright © 2026 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

介護人材確保の主な取組

子ども　学生　県民　外国人	潜在的有資格者	介護職員（無資格者）	介護職員（有資格者）

参入の促進

理解促進・イメージアップ

●介護の仕事体験事業（職業体験イベント）
●「介護の日」記念事業（著名人による講演会、介護技術コンテスト　等）
●介護の魅力発見事業（介護施設・福祉系高校へのバスツアー）
●介護の仕事魅力発信事業（魅力発信サイト「さがケア」,SNS等）

新規参入者への支援

●福祉系高校への支援（実習費・被服費・通学支援金等）
●福祉系高校の広報パンフレット
●修学資金貸付（福祉系高校）　●就職フェア、就職面談会
●介護未経験者研修と介護事業所とのマッチング支援

離職防止・定着促進

●再就職準備金貸付（経験者）
●実務者研修受講資金貸付

主に外国人人材を対象とした施策

●介護福祉士、社会福祉士修学資金貸付事業（短大、大学）　●外国人雇用サポートセンター
●介護サービス事業者による留学生への奨学金等支給に係る補助金
●外国人留学生への日本語学習等支援事業費補助金　●受入・定着ガイドブック作成
●介護事業所と留学生とのマッチング事業費補助金　●外国人介護人材受入・定着セミナー
●外国人人材に対する日本の生活ルール等に係る研修
●外国人人材に対する日本語学習支援事業
●外国人介護職員と日本人介護職員との交流会

処遇の改善

●加算取得のための専門家（社労士等）派遣の実施
●加算取得のためのセミナー等の開催

労働環境の改善

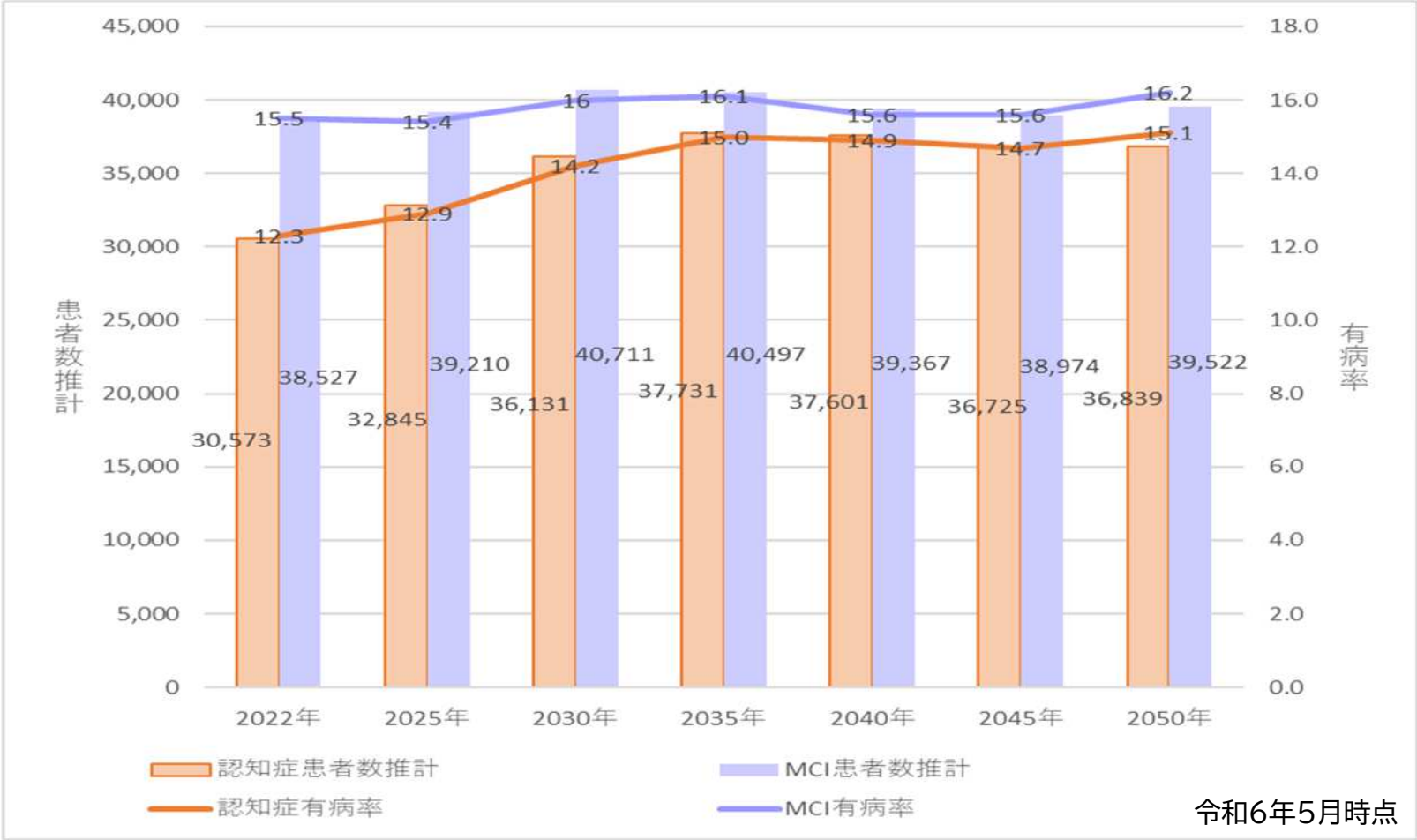
●施設内保育施設運営費補助事業　●介護職員の宿舎施設整備補助事業
●介護テクノロジー定着支援事業費補助　●抱え上げない介護普及推進事業
●介護業務効率化サポートセンター

資質の向上

●職種別・階層別の各種キャリアアップ研修　●喀痰吸引等研修
●初任者研修等補助事業　●ストーマケア研修

Copyright © 2026 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

佐賀県の認知症及びMCI患者数と有病率の推移

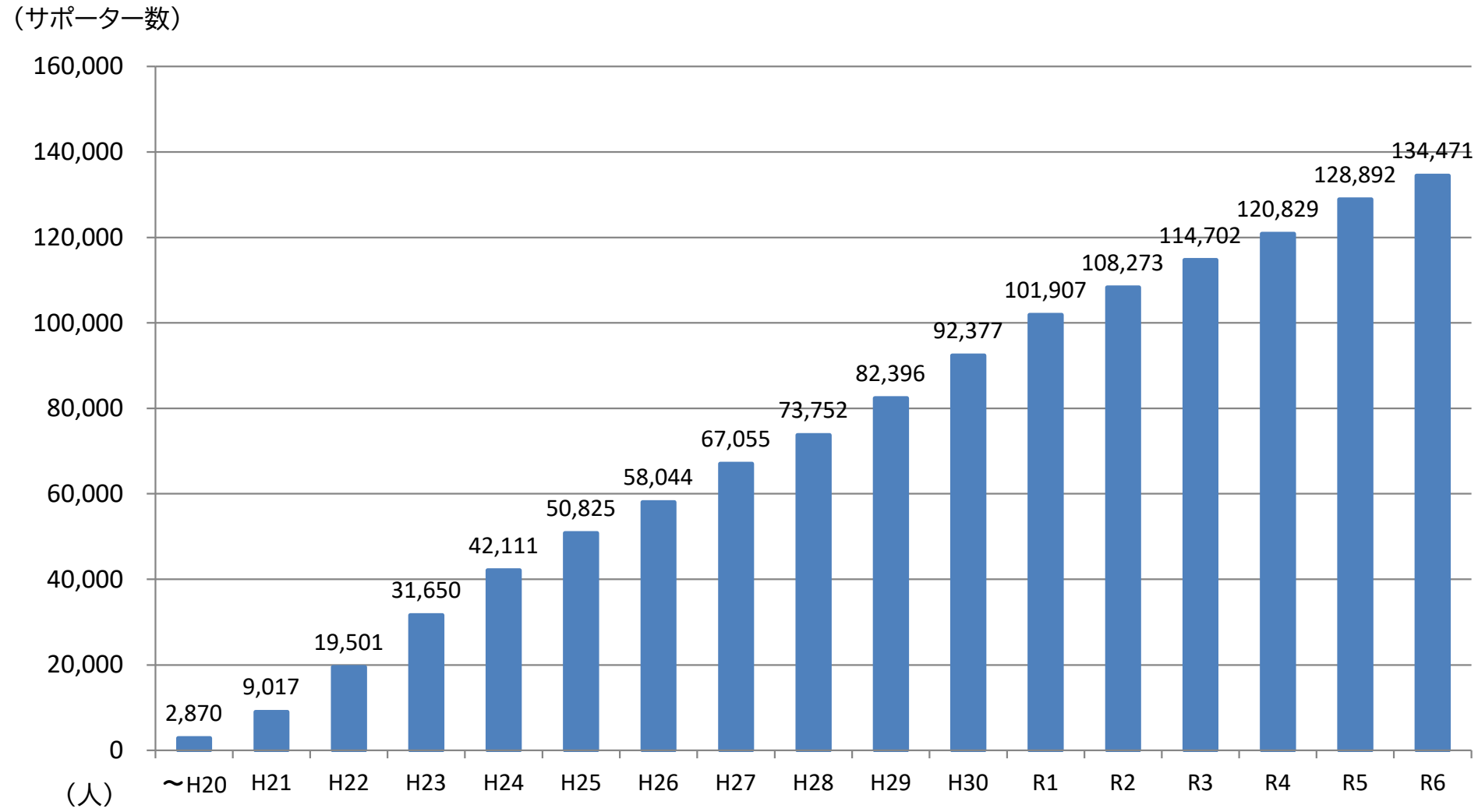


※R6.5.8第2回認知症施策推進関係者会議資料(厚生労働省研究班)を基に作成
有病率:認知症施策推進関係者会議資料
患者数推計:有病率×佐賀県の65歳以上人口(国立社会保障・人口問題研究所将来推計人口等)

MCI(Mild Cognitive Impairment:軽度認知障害)
本人や家族に認知機能低下の自覚があるものの、日常生活は問題なく送ることができている状態。MCIの状態で日常生活に支障が出始めると認知症の状態にあると判断される。健常な状態と認知症の中間の状態であり、認知症だけでなく、健常な状態にも移行しうる状態であるともいえる。
1年で約5～15%の人が認知症に移行する一方で、約16～41%の人は健常な状態になる。

Copyright © 2026 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

佐賀県内の認知症サポーター数の推移



Copyright © 2026 Saga Prefecture. All Rights Reserved.